



社団法人 全国脊髄損傷者連合会新潟県支部

新潟県車椅子友の会

発行:事務局

TEL&FAX (025) 387-5136

E-mail:matsu_hako259@tea.ocn.ne.jp

25年度 情報 NO, 1

新潟県車椅子友の会

検索

25年度支部総会を開催しました。

去る、4月22日(日)午後1時30分より、輪番制で上越地区となる上越市名立区「ホテル光鱗」を会場に新潟支部総会を開催しました。当日は、山間部には降雪となる冬型気圧配置、県内も冬に逆戻りしたように冷たい雨が降る空模様となりました。参加会員も年々減少し盛大な総会を行うことは困難になってきましたが、時節柄多忙な来賓招待範囲も規模を縮小しご案内をしたところ、会場に充たる上越福祉課長さまのご

臨席を仰ぎ激励の言葉を頂きながら無事式典並びに会議を終了することができました。会員皆様には出席は出来なくても貴重な決議に重要な一票の委任状をお送り頂きましたこと紙面を借り心より御礼を申し上げます。

(会員数 70 名。参加会員 10 名、委任状提出者 29 名 = 有効数 39 名 / 過半数を越え総会の成立。付添 2 名、来賓 1 名)



上越市福祉課長

小菅一彦さま

【ご来賓】

社団法人新潟県身体障害者団体連合会会長 / 本田 佐敏さま(所要で欠席) 上越市健康福祉部福祉課長 / 小菅一彦さま(ご臨席)。なお、県身連会長からは祝電を頂戴しましたので式典内にて報告披露いたしました。

【総会】

上越分会 / 丸山敏夫(副会長)が議長に選任され各議案に沿い進行協議を行いました。提案の24年度活動報告及び決算報告、監査報告については満場一致で承認されました。



1. 全国総会について

25年度活動計画では、本年6月8日開催予定の脊髄連合会(全脊連)全国総会富山県大会の北越ブロック4県支部に参加協力の要請があり、本県では申込既に9名参加の締切り後でありながら、会より旅費の一部助成措置を提案したところ、会場からは4名の追加予約の協力が得られました。

2. 第22回車椅子スポーツ大会

6月9日予定の第22回車椅子スポーツ大会は、この全国総会帰路にあたる柏崎陸上競技場での開催を予定していましたが、同日開催の県身連第5地区体育大会(長岡会場)と地元の協力者が重複し協力者が少なくなることや参加会員が減少していること、大会準備不足も含め強硬な開催が予想されるため、この日の開催は協議の上、中止と決定しました。

また、日を改めこれに代わる参加し易いスポーツ競技やリ克雷ション大会の日程調整や種目の選定については有力な候補もないため、秋の懇親会に絡める方法や他のゲーム大会などを年度中に計画し募集することで事務局に一任することになりました。

3. 第3回海外研修旅行計画

計画は、航空機で短時間に行ける目的地「沖縄・石垣島」、「台湾」、「グアム」3泊4日の3つのプランを旅行業者に依頼し見積もりしました。〔未定のため料金高めに概算表示〕今後、参加希望者の多い目的地に絞り案内申込を受ける準備を行います。旅行実施日は平成26年3月頃を予定しています。

4. コピー機に変わるプリンターの購入

事務局で使用していたコピー機が古くなり今後メンテナンスにも高額な費用が予想されるため、コストの少ない安価なコピー複合プリンターを本年度の予算に計上し購入。さらに会員へ情報をより多く流すように努力します。

5. 以上の計画案に基づき新年度予算案についても原案の通り承認されました。

6. 全国カタログ通販「全通」事業への協力を

予算に計上される「全通」事業収入は、年会費のみで賄うことが出来ない会の存続を左右する重要な

委託事業収入です。最近ではインターネットの普及により「カタログ通信販売」で購入する県内客が減っています。当然、販売収入が減れば委託打ち切りを余儀なくされることとなります。他県ではすでに打ち切られた支部もありますが、古くはこの委託事業を始めたのは我々歴史ある「脊損連合会」であることを多くの自治会へ周知し理解を得てほしいと思います。にも関わらずその後、似たような団体等の参入により県内の各自治会には同じようなカタログを配布され我が会にとって大幅な収入減と、大変迷惑で誤解を招く情報が流れる結果になっています。「新潟県車椅子友の会」の正真正銘なカタログから購入して頂こう、また、会員皆様におかれましても是非我々の通販から少しでも購入して頂けることを心より願っています。

※総会欠席者には今回、議案書を添付同封いたします。

会場の「ホテル光鱗」

北陸道の名立谷浜インターを下車して海沿い8号線へ一直線に走ると風力発電の大きなプロペラが見える道の駅「うみてらす名立」がある。数年前よりここで会議する機会が多くなりましたが、昨年は、北越四県ブロック会議で新潟会場として利用させて頂きました。招いた酒豪他県の会員も大満足のおもてなしホテルです。この時富山の北越ブロック長より感謝状を贈呈しました。フロント脇に額入りで飾ってあるので是非見てほしい。道の駅でありながらホテル経営を行っており、お食事処、温浴、プール、鮮魚センター、マリンスポーツの拠点にもなっています。北陸自動車道の2車線化工事によって山を削って出た土砂を海岸の国道8号線沿いの海に埋め立てて出来た土地に建造

した複合施設だそうです。第3セクター「ゆめ企画名立」が経営。地元で採れた海産物、水、土地で栽培された米、野菜など新鮮な食材で、ホントに「これでもか！」と食べきれないほど宴会で並ぶ海鮮料理は「足りない」と云わせない経営者の方針だそうです。夕日が沈む日本海は、太平洋側では味わえない絶景。お泊り2階は、

車椅子でも十分過ぎるバリアフリーの見晴らしの良いベッドルームが用意され洋式トイレも使いやすい。バスは無くシャワールーム。残念ながら大浴場へは車椅子は入れないので、ロフト付1階バスルームを借りるのが策。でも従業員の心温まる気配りに車椅子でもほんわか気分に入るひと時を過ごして見て下さい。★★★

